

令和7年1月28日

報道機関各位

熊本大学

公開シンポジウム「感染症と社会」のご案内

本学「感染症と社会」研究会では、令和4-5年度クロスフロンティア研究推進事業の指定を受け、「ハンセン病・HIV/AIDS・Covid-19の事例を踏まえた感染症に関する科学コミュニケーションの研究」を進めてきました。このたび、下記の通り公開シンポジウム「感染症と社会」を開催することになりましたのでお知らせします。

本シンポジウムでは、各分野の研究についてのポスターセッションに続き、2023年1月（コロナ第8波ピーク直後）と2024年2月（コロナ5類移行後、第10波ピーク直後）に実施した地域住民約1,000名に対する意識調査の報告や、感染症に関する情報伝達や教育のあり方についての討論を行います。

学内外を問わず、「感染症と社会」の問題にご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。広く一般の方へお知らせいただくとともに、取材方、よろしくお願い申し上げます。

記

【日時】2025年3月22日（土）13:30～16:30（予定）開場 13:00

【場所】熊本大学黒髪北地区・くすの木会館レセプションルーム
Zoomによるオンライン参加も可能です

【概要】（第一部）ポスターセッション：各分野の研究の紹介
（第二部）調査報告：地域住民の意識調査の結果とその注目点
（第三部）討論：感染症に関する情報伝達や教育のあり方を考える
※詳細については別紙案内をご覧ください。

【対象】「感染症と社会」の問題にご関心をお持ちの方

【参加費】無料

【備考】事前申込不要（オンライン参加の場合を除く）

Zoomによるオンライン参加を希望される方は、3月20日（木）までに下のお問い合わせ先までメールにてご連絡下さい。

ご来場の際は可能な限り公共交通機関をご利用ください。

お車での入構・駐車は有料です（1時間超え4時間以内：500円）。

【お問い合わせ先】

熊本大学「感染症と社会」研究会

世話人 八幡英幸（教育学研究科）

E-mail yahata@kumamoto-u.ac.jp

公開シンポジウム「感染症と社会」

日時 2025年3月22日(土) 13:30-16:30 開場 13:00

場所 熊本大学黒髪北地区・くすの木会館レセプションルーム(下図の矢印の建物)
Zoomによるオンライン参加も可能です(詳細は裏面参照)

主催 熊本大学「感染症と社会」研究会



- (第一部) ポスターセッション:各分野の研究の紹介
- (第二部) 調査報告:地域住民の意識調査の結果とその注目点
- (第三部) 討論:感染症に関する情報伝達や教育のあり方を考える

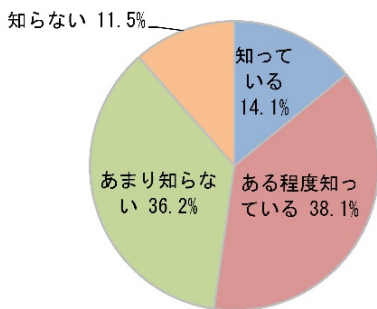
本学「感染症と社会」研究会では、令和4-5年度クロスフロンティア研究推進事業の指定を受け、生命科学部、人文社会科学部、教育学研究科の教員による共同研究として、「ハンセン病・HIV/AIDS・Covid-19の事例を踏まえた感染症に関する科学コミュニケーションの研究」を進めてきました。

本シンポジウムでは、各分野の研究についてのポスターセッションに続き、2023年1月(コロナ第8波ピーク直後)と2024年2月(コロナ5類移行後、第10波ピーク直後)に実施した地域住民約1000名に対する意識調査の報告や、感染症に関する情報伝達や教育のあり方についての討論を行います。

学内外を問わず、「感染症と社会」の問題にご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

Q. どのような病気が知っているか？

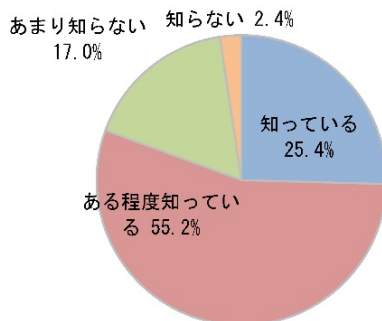
ハンセン病 (n=999)



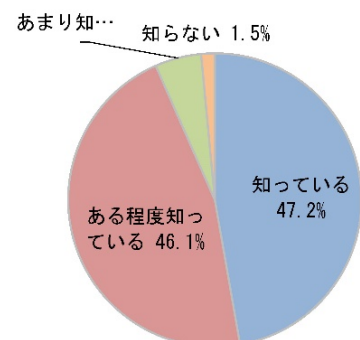
“知っている”・“ある程度知っている”の割合

n=999, $p < 0.0001$ for difference between Hansen's disease and AIDS.
n=999, $p < 0.0001$ for difference between Hansen's disease and COVID-19.
n=999, $p < 0.0001$ for difference between AIDS and COVID-19.
The differences were tested by the McNemar's test.

AIDS (n=999)



COVID-19 (n=999)



- ✓ 認知度は異なる
- ✓ COVID > AIDS > Hansen

参考: 地域住民の意識調査(2023年1月)から

プログラム

(第一部) ポスターセッション: 各分野の研究の紹介

13:00-13:30 開場・受付 ※セッション開始まで、各報告者のポスターをご覧ください

13:30-13:50 ポスターセッション

大野正久(人文社会科学研究部) 新型コロナワクチンの接種行動と科学コミュニケーション

森 大輔(人文社会科学研究部) マスク着用についての社会規範とその変容

今井伸和(教育学研究科) 教育学部附属特別支援学校におけるコロナ下の養護教諭の実践

八幡英幸(教育学研究科) 模擬市民ワークショップ「旅館業法改正について考える」

(第二部) 調査報告: 地域住民の意識調査の結果とその注目点

13:50-13:55 司会・趣旨説明 岡田行雄(人文社会科学研究部)

13:55-14:25 報告① 調査結果の概要 門岡康弘(生命科学研究部)

14:25-14:40 報告② 調査結果の注目点 八幡英幸(教育学研究科)

14:40-14:50 質疑応答

(第三部) 討論: 感染症に関する情報伝達や教育のあり方を考える

15:00-15:30 提案① 医学の視点から 松下修三(ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

門岡康弘(生命科学研究部)

15:30-15:45 提案② 法学の視点から 岡田行雄(人文社会科学研究部)

15:45-16:00 提案③ 教育の視点から 八幡英幸(教育学研究科)

16:00-16:30 意見交換

16:30 閉会

参加費無料・事前申込不要(オンライン参加の場合を除く)

可能な限り公共交通機関をご利用ください。

お車での入構・駐車は有料です(1時間超え4時間以内: 500円、4時間超え24時間以内: 1000円)。

Zoomによるオンライン参加を希望される方は3月20日(木)までにメールにてご連絡下さい。

連絡先 熊本大学「感染症と社会」研究会

世話人 八幡英幸(教育学研究科) yahata@kumamoto-u.ac.jp